



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
購読料 1カ月5343円+税
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2019

4月4日
(木曜日)

電子ミラー半導体に参入

テックポイント複数社が採用検討

半導体設計の米テックポイントは、電子ミラー用半導体事業を立ち上げる。中国の有力車載機器メーカーが年内に生産開始する新型電子ミラーの半導体を受注した。電子ミラーへの採用を明らかにしたのは今回が初めて。採用実績を生かし、市場拡大が見込まれる電子ミラーの需要を取り込む。

採用されたのは、昨年開発した液晶ディスプレイコントローラー「TP68006」。

従来は二つのチップで処理していた映像受信とディスプレイ制御機能を1チップで処理できる。実装面積が半分になるため、積載スペースに限りがある電子ミラーやカーナビゲーションに適している。システムの不具合が事故につながる可能性がある電子ミラー向けに、入力映像の固着検知機能など安全性を高める機能

を搭載している点も特徴だ。製造は台湾のTSMCに委託する。

同製品を採用したYFオートモーターは、車載機器の開発設計を手がける企業。中国の主要ローカル自動車メーカーなどにドライブレコーダーや電子ミラーを納入してきた。YFオートモーターは同製品を採用し、フルハイビジョン動画を表示できる電子ミラーを生産する。同製品は、YFオートモーターの

ほか、複数の電子ミラーメーカーが採用を検討しているという。

富士経済によると、世界の電子ミラー市場は、2035年に16年比で60・7倍となる425億円に拡大する見通し。ルームミラーのほか、トヨタ自動車や昨年発売したレクサス「ES」のドアミラーを電子化するなど市場の広がりを見せている。テックポイントは半導体の米テックウェルを創業した小

里文宏氏が設立したメーカー。17年には東証マザーズに上場した。アナログ回路の設計技術を強みに電子ミラーやドライブレコーダーなどの車載向け半導体を強化しており、19年度(1~12月期)に車載事業の売上構成比を現状の15%から28%に高める方針だ。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。